

平成29年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成29年5月16日（火）10：00～12：00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成29年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料1
(2) 平成29年度東京都公民館連絡協議会定期総会 議案書・・・資料2
(3) 平成29年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料3
(4) 平成29年度東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料4
(5) 平成29年度小平市九館会 総会資料・・・・・・・・・・資料5
(6) 平成29年度第1回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料6
こだいらの公民館 平成28年度 公民館事業実績
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成29年度 小平市公民館定期講座実施状況について
(3) 平成29年度（5月開催）公民館まつりについて
(4) 平成29年度 東京都公民館連絡協議会について
(5) 公民館事業企画委員会等について
(6) 平成29年度自主公民館運営審議会について
(7) その他

会議の概要

1 館長報告

- (1) 中央公民館の耐震補強工事に係る市民説明会について

本年度実施予定の耐震補強工事に伴い、市民を対象に事前説明会を開催する。本年1月に工事の概要（耐震補強工事の工期や内容及び想定される騒音や振動等の利用

者への影響など) についての説明会を開催した。今回は、工事請負事業者も同席のうち、詳細な工期や工法など、より具体的な内容を説明する。日時や会場が確定次第、改めて連絡する。

(2) 審議会の運営方法や進行に係る改善点について

先月の公民館運営審議会において出た意見や提案を受けて、公民館において、有意義な審議会とするために協議をした。

その結果、公民館定期講座の実施状況の報告は、全ての講座を一律に報告するのではなく、主要な講座について、目的やねらい、成果、課題、実施に伴う工夫や留意点などのポイントを絞って報告することとした。

また、講座だけでなく、土曜子ども広場「友・遊」やけやき青年教室、公民館保育など、講座以外の事業についても実施状況等を報告し、審議会委員から課題に対する解決策や、学校・市民活動団体などの地域関係機関との連携についての提案などを受けて、審議会がより地域に根差した、市民ニーズに即した講座や事業につなぐための有効な機会にしたい。

公民館事業企画委員会については、各公民館ならではの進行方法や工夫、地域の特色をはじめ、事業企画委員会が出された課題や問題点など、各公民館独自の状況を報告し、立場が異なる事業企画委員からの様々な視点での意見等を受けて、各公民館が地域の特性を活かした効果的な運営ができるよう進めていく。

(3) その他の報告事項について

これから夏に向けて、本年も引き続き中央公民館だけでなく、一部の分館では「緑のカーテン」の設置をする。

また、5月1日から10月31日までクールビズとして、職員の軽装を実施している。

2 平成29年度小平市公民館定期講座実施状況について

事務局より資料1について説明した。

(質疑応答)

中央公民館に関して

委員 今回説明した5講座を主要講座として選んだポイントは何か。

事務局 定例的に実施される、シニア・パソコン・女性セミナーといった講座はある程度、目的やねらいが分かりやすいが、その他の実施する市民講座や夜間講座については、講座名だけでは目的や内容がわかりにくいものやそれぞれの意図を

持って企画するものということから選択した。

委員 毎年実施しているパソコン講座等は、今後説明を省略するのか。

事務局 何か特徴的なことがあれば、説明する。

委員 先日、成人団体指導者養成講座「広げよう公民館活動」を受講したが、今回の講師はどのように選出したのか。小平市の公民館活動で専門の方、指導を仰ぐ方がいて、決まっているのか。

館長 講師として特に決まった方はいないが、今回の講師については、担当職員が研修を受講した際、講義内容や進行方法など好評だったので依頼した。また、講座のテーマに合う講師を他の自治体と情報を共有する中で紹介してもらうこともある。

委員 平成28年度のヤングセミナー「自分だけのオリジナルソングをつくろう」と今年度の夜間講座「アカペラでオシャレにアレンジしたクラシック曲を歌おう」の講師が同じだが、成果について、講座の中の成果発表だけでなく他に活動する機会を意図的に考えると更にPRできるのではないか。これから進めていくうえで検討してほしい。

館長 「アカペラでオシャレにアレンジしたクラシック曲を歌おう」講座の成果としては、7月から8月にかけて市内高齢者福祉施設・子どもの施設に足を運び、ボランティア活動に繋げていく予定である。講座を受講した成果を地域に還元するという公民館としての目標があるので、それに沿った活動に繋げていきたいと考えている。

会長 ジュニア講座の対象は。

事務局 対象は、小学4年生から6年生、希望があれば中学生も可とした。

委員 募集状況はどうだったのか。

事務局 講座は既に関講しているが、20名の定員に対し35名の応募があり、講師との調整の結果、全員を受講可能とした。

分館に関して

- 委員 上水南公民館の夜間講座「自分にあった色さがし」を実施することで、公民館を利用したことのない市民を取り込みたいとの目的だが、どのようなアピール方法を考えているのか。広報は市報のみということなのか。
- 事務局 市報・ホームページ・チラシ・ポスター等を考えている。
- 委員 公民館を利用したことがない市民に受講してもらいたいのであれば、今までと違うアプローチの方法を検討してほしい。
津田公民館の夜間講座「初めてのヨガ 体と心をリフレッシュ」は応募が多く、40人以上で男性の応募もあったとのことだが、年代はどうだったのか。
- 事務局 応募は20代から80代までで、定員を超えたため抽選した結果、実際の受講者は30代から70代だった。
- 委員 この講座の広報の仕方はどうだったのか、また、公民館を利用したことのない方はいるか。
- 事務局 広報は通常どおり、市報・ホームページ・チラシ・ポスターで行った。
受講者の中で公民館を初めて利用する方がいるかどうかは、まだ把握していない。
- 委員 公民館を利用したことがなくて、「ヨガ」をやってみようと思ったのであれば、利用者層の拡大に向けて何かヒントになるものがあると思われる。
津田公民館のジュニア講座「自然とあそぼう」は、地域の住民が関わるとのことだが、ジュニア講座に地域の住民の方を呼んで実施するということか。
- 事務局 講師にボーイスカウトの方々や津田公民館の利用サークルの方にお願ひし、地域で活動している方々と協力・連携しながら実施するということ。
- 委員 小川公民館の「地域防災のヒントを学ぶ」は自治会だけでなく、学校関係者への声掛けはしたのか。
- 事務局 周辺自治会にチラシを配布したが、学校関係者には周知していないが、事業企画委員の中には小学校副校長も入っており、情報共有はできている。

- 委員 学校関係者などは、参加することが難しいかも知れないが、他の機会では市の防災に協力している。地域防災マニュアル作りを学校区で取り組み始めているので、それに絡めて実施できればいいと思う。
このような講座は、他の公民館でも実施してほしいが、学校にチラシを配布する場合は、全家庭数を用意してほしい。
- 委員 講座で保育を付けているのは、中央公民館と分館の家庭教育講座だけである。予算の範囲で可能であれば、市民講座にも保育を付けてほしいと、若いお母さん達からの要望を聞いている。
- 委員 花小金井北・花小金井南・大沼公民館は、昨年度に引き続き今年度も保育付き講座が実施されないのはなぜか。
- 事務局 大沼公民館は、一般利用のサークルが火曜日～金曜日まで保育付きで活動をしているため、保育室の空きがない。そのため、親子と一緒に参加できる講座を考えている。
- 事務局 花小金井北公民館は、部屋の都合で家庭教育講座は木曜日の午前中しか開催ができない。しかし、今期の木曜日は、保育者の手配が難しいため、親子と一緒に参加できる講座とした。
- 事務局 花小金井南公民館は、部屋の都合ということもあるが、近くに児童館があるので、児童館の休館日である火曜日に家庭教育講座を開催することで、児童館が担っている部分をカバーする考えがあることと、仮に保育付きの講座を実施するにも、部屋の大きさから8名までしか保育の受入ができないため、親子で参加できる講座という形で取り組んでいる。
- 委員 上宿公民館夜間講座でスマートフォンやタブレットの使い方講座を開催しているが、高齢者は端末を使いきれずトラブルが発生しているとの話を聞く。講座応募者の年代はどうか。
また、上水南公民館の夜間講座「自分にあった色さがし」は、どのような意図で企画したのか。
- 事務局 上宿公民館の応募者は、50代以上の方がほとんどである。応募の動機を申込み時に確認しているが、身内や家族に聞いても教えてもらえない、自身で取扱書を読んで覚えることは難しいというものが多かった。

- 委員 60～70代の人がこのような講座を受講すれば、スマートフォンなどのトラブルも少なくなると思う。
- 事務局 トラブル防止という観点では、最終回で「安全に使うために知っておくこと」をテーマに講義する予定である。
- 事務局 上水南公民館の夜間講座「自分にあった色さがし」は、公民館をあまり知らない、利用したことがない市民をターゲットにした女性限定の講座で、この講座をきっかけに、公民館を知って利用してもらう機会を作りたいというものである。自分の魅力を引き出してくれる「色」を知り、日常生活や会社などで生き活きと自信を持って過ごす術を学ぶことを目的としている。カラーコーディネーターの方が講師となる。
- 館長 男性には馴染みがないかもしれないが、今、若い女性に人気がある。自己啓発につないでいくようなところもあり、公民館の堅いイメージを少し柔らかい感じで受け止めていただけるのではないかと考えている。
- 委員 この講座は、副題はつくのか。短くても、副題をつけることで分かりにくい人も分かってもらえると思う。
- 館長 わかりやすい手に取りやすいチラシとして、サブタイトルや吹出しのようなものを表記することを検討する。
- 会長 このような講座は、昨年の花小金井南公民館の意見交換会で出されていた。
- 委員 利用したことのない女性を対象としているが、利用したことのない男性対象の講座は考えられないか。
- 館長 公民館利用者は、6割～7割が女性である。これからは男性も公民館に足を運んでもらえるような講座も検討しており、まずは仲町公民館でパパ向けの家庭教育講座を開設するとともに、シニア講座は男性が興味を引くようなテーマを含めて実施する予定である。委員のご意見を反映できるように、全公民館で検討していきたい。
- 会長 学校長である坂倉委員にお聞きしたいが、津田公民館と大沼公民館のジュニア

講座について、何かご意見はありますか。

委員 とても良いことだと思う。ただ、公民館の講座はどうしても場所の関係もあって受付可能な人数が少ない。学校規模からすると、宣伝に比べて募集の人数が少ないと感じているが、仕方がないこととは思う。

事務局 今後の課題としたい。

3 平成29年度（5月開催）公民館まつりについて

（質疑応答）

委員 「なかまちテラスまつり」となっているので、図書館と共催か。

事務局 「なかまちテラスまつり」なので、図書館の職員も一緒に協力・連携し合って実施しており今年度は、「おはなし室で布の絵本であそぼう」などの新たな取組が、3つ4つ入っている。
なかまちテラス一体となって開催しているまつりである。

委員 なかまちテラスは、図書館がある関係上、従来の公民館施設としては小さくなったと思う。展示品が少なく、従来の仲町公民館まつりのイメージからすると非常に規模が小さく感じた。例えば図書館を一時的に閉鎖してそこを展示室にするなど、展示スペースを広げることはできないのか。

事務局 図書館はまつりの期間も開館しているので、図書館の職員は通常どおりカウンターに入って業務をしている。開館していることで、図書館の利用者も相乗効果で増えている。図書館を閉館しない限り今以上の規模にはならないが、今後の課題だと思う。

委員 小平市の世論調査の結果を見ると、利用率について、年1回以上利用している人は図書館で55%くらい、公民館を1回も利用していない人が60%を超えている。図書館が開館していることで図書館に来た人に公民館を知ってもらうことになるのではないか。

会長 図書館に来て公民館のことを知る方もいるので、今後の検討課題ということでお願いしたい。

4 平成29年度 東京都公民館連絡協議会について
事務局及び委員より資料2・3・4について説明した。

5 公民館事業企画委員会等について

(感想)

委員 小川公民館の「講座のための意見交換会」は、3グループに分かれて、活発な意見交換が行われた。高齢者向けの軽体操や灯りまつりに連携できるような地域の人が参加しやすいもの、子ども向けには学習補習になるようなものを企画してほしいとの意見が出ていた。

委員 難しいと思うが、他課の事業と開催日が重なっていて、参加できなかったとの意見があった。公民館だよりを活用できると良い。

委員 津田公民館の「講座のための意見交換会」は、利用者と前年度講座受講者しか意見を言っていなかったが、事業企画委員も含めて参加者全員が意見を言うべきだと思った。

委員 津田公民館の「講座のための意見交換会」の後、引き続き事業企画委員会を開催し、その中では、活発な議論が行われていた。「講座のための意見交換会」の中で、事業企画委員も発言をしたら良かったのではないかと。

委員 大沼公民館の「講座のための意見交換会」は、2グループに分かれて、小平市全体と大沼地域に関する特徴を書き出した。例えば、小平の歴史や大沼の歴史を知りたい、という意見が複数出された。
それをいかに講座に結びつけるかを、今後検討していく。

会長 今後、事業企画委員会が各館で随時開催されるので審議会委員も足を運んでほしい。

6 平成29年度 自主公民館運営審議会について

6・8・10・2月の4回開催する。6月と8月の自主公民館運営審議会については、公民館保育室の運営、けやき青年教室の運営、小学生に対する学習支援について職員から説明を受けた後、委員で意見交換をしたい。

7 その他

- ・こだいらの公民館 平成28年度 公民館事業実績について
事務局より公民館事業実績について説明した。
- ・小平市公民館九館会総会について
事務局より資料5について説明した。

次回は、7月18日（火）午前10時より、中央公民館会議室にて開催する。